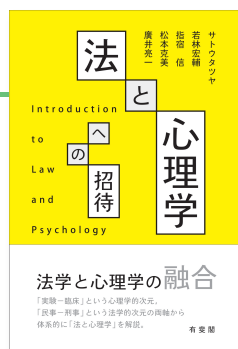


法と心理学への招待

サトウタツヤ = 若林宏輔 = 指宿 信 = 松本克美 = 廣井亮一

2020年1月発売 / 274頁 / 本体2500円+税
四六版 / 並製



編集
担当者
から

はたして人間は本当に公平で偏見なく罪を裁けているのでしょうか？

人間は、尋ね方しだいでは見たこともない他人でさえ犯人に違いないと証言してしまう生き物です。まったく身に覚えのないことですら、強圧的な取調べでは自らの罪だと「自白」してしまいます。だれもが裁判員になりうる今、科学的に公正な司法の実現に向けて、人間の心理に対する理解が求められることは間違いありません。

裁判の場面だけでなく、被害者ケアや加害者の理解・更生にも心理臨床的なアプローチは欠かせません。また、人間の心理について知ることは、悪質商法などから身を守るのにも役立ちます。罪を犯すのも、裁くのも人間である以上、法学と心理学の協働は宿命ともいえるのです。

本書では、私たちの日常に生きる「法と心理学」について、法学と心理学の大家がわかりやすく解説します。実験と臨床という心理学的な軸と、民事と刑事という法学的な軸からの体系的な解説で満足いただけること請け合いです。法学と心理学を架橋する、有斐閣ならではの1冊です。(渡辺)

Point!

P

豊富な事例とブックガイドで自学にも最適!

ブックガイド

堀田秀吾 (2009) 『裁判とことばのチャラ——ことばでめぐる裁判員裁判』 ひつじ書房

言葉の与える影響力について法言語学の立場から説明する。一般向けの概説書。目撃証言や裁判員裁判での模擬評議などを題材に、裁判や司法の現場で見落としてきた言葉の持つ意外な影響力を解説する。

指宿信 (2016) 『被疑者取調べ録画制度の事前線——可視化をめぐる法と脳科学』 法律文化社

日本において取調べが原因で証言が生じていることや虚偽の自白が誘発される仕組みを解説し、オーストラリア、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、イギリスなどの国の取調べの録音録画制度の歴史と実態、撮影アングルがもたらす心理的バイアスに関する研究の紹介などを含む、総合的な研究書。

牧野茂・小池順一郎編 (2018) 『取調べのビデオ録画——その振り方と証拠化』 成文堂

取調べ映像が裁判体験に与える影響を考えるシボゾムの記録。いわゆる今市事件裁判で7時間強の映像が法廷で再生され、有罪判決が言い渡された裁判をきっかけとしたイベント。映画監督、法学者、弁護士、元裁判官などが取調べ映像が刑事裁判の法廷で利用されることの危険性について多角的に論じる。

伊東裕司 (2019) 『裁判員の判断と心理——心理学実験から迫る』 慶應義塾大学出版会

実験心理学の実証データを用いて、感情が裁判員の有罪・無罪の判断に及ぼす影響や、事実の認定や量刑の判断に被害者遺族の見解陳述が及ぼす影響などについてわかりやすく解説する。

第5章 偏見 127

第7章 取引と心理

悪質商法になぜだまされる？

●キーワード 私的自治の原則、意思自治の原則、認知症、意思能力、悪質商法、精神鑑定、行為能力、制限行為能力者、成年被後見人、被保佐人、被補助人、成年後見人、保佐人、補助人、自己決定の制約、アトモ商法、投資取引、行動経済学、マインドコントロール、瑕疵担保責任、契約内容不適合責任、環境瑕疵、心理的瑕疵

●学習内容

講座上の取引に際して、人の心理と精神との関係が法的争点となる事案を検討します。最初に、精神に關する病気や高齢による判断能力の低下につけ込んだ悪質な取引の例。次に、十分に判断能力があると思われる成人も、つい陥ってしまう消費者心理や投資家心理につけ込んだ悪質商法について検討します。

1 判断能力の低下

事例7-1 **ねらわれる高齢者の資産** 今年75歳になる田中ハルコは、夫の田中イチロウから相続した土地上の建物に1人で暮らしていました。息子のシタは20歳の大学生のときに、運転していたオートバイがわき見運転の車に衝突される交通事故で亡くなり、ハルコは一人暮らしです。最近、買物に行った後に、迷子になることが多くなり、交番で保護されることもありました。たまたま様子を見にくる姪の鈴木キョウコが、ハルコから迷子になった話を聞き、心配になって病院に連れて行ったところ、認知症が進行していると診断さ

151

※小社ウェブサイトの本書のページも是非ご覧ください。

